

立命館大学アート・リサーチセンター

文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
2017年度 共同研究成果報告書〔研究費配分型〕

2018年 月 日 提出

1. 研究課題名	
近世近代期京都の地誌・案内記を対象としたデジタルアトラスの構築 (英文標記: Construction of a Digital Atlas of Topographic Documents and Guidebooks in the Early Modern Period and Modern Period of Kyoto)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
塚本 章宏 (つかもと あきひろ)	徳島大学大学院社会産業理工学研究部社会総合科学域・准教授
3. 研究分担者 (合計: 名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
矢野 桂司 (やの けいじ)	文学部・教授
赤間 亮 (あかま りょう)	文学部・教授
金子 貴昭 (かねこ たかあき)	衣笠総合研究機構・准教授
山路 正憲 (やまじ まさのり)	衣笠総合研究機構・研究員

4. 研究課題の概要(300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)
<p>本研究課題は、近世から近代への移行期の京都における、あらゆる職種に関する人物・住所情報が記載された地誌・案内記類のデジタルアーカイブを進め、産業の立地や集積の地理的分布とその変遷を明らかにするためのデータ基盤構築を目指すものである。地誌・案内記類の画像データベースと、地理情報システム(GIS)の管理・分析機能と連携させることで、オンライン上で近世近代期の京都における主要産業のGIS地図と原資料の画像を閲覧することができる仕組みとして構築を進める。これまでの共同研究の成果を踏まえて、可能な限りのコンテンツをこのシステム上に拡張していく。また、これまでの成果を活用した、近世近代の京都の地名を交差点レベルで半自動的にマッピングするシステムの構築・公開にも取り組んだ。</p> <p>本研究課題は、デジタル・ヒューマニティーズ研究における重要な研究基盤、研究事例としても期待される。</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

2014～17年度の取り組みにおいて、京都の地誌・案内記類の所蔵数で最大規模の一つである、京都学・歴史彩館(京都府立総合資料館)に所蔵された地誌・案内記類および近代期に出版された絵図に加えて、カリフォルニア大学バークレー校に所蔵された地誌・案内記類のデジタル画像も対象として、デジタルアーカイブをすすめる、その成果を整備・公開した。また、インターネット上でそれらが閲覧できる画像データベースとオンラインマップとを連携させたシステムの構築を進めた。これまでに公開した資料の点数は、2014年度から合わせて約200冊、撮影カット数では約25,000カットを超え、現在、アート・リサーチセンターのサーバーを利用して公開されている「京都地誌データベース」で閲覧が可能である。

2017年度において、上記に加えて特に注力されたのが、オンラインのデジタルアトラスによって、様々な時間断面の商工業者・文化人の居住地分布がわかる地図から、人物が掲載されているページの画像データへとリンクさせることである。一部、試験的に画像の詳細画面からオンライン地図へリンクを追加し、一方で、オンラインマップ上で示された京都の主要産業の地点から画像の詳細画面にリンクを追加した。こうした相互のリンクを作成することで、画像データベースとオンラインマップを相互に行き来できるような仕組みを構築した。

また、近世近代の絵図の画像データをGIS上に読み込み、近世近代京都の歴史地名データベースの作製を進めた。この地名データベースの整備を進めたことで、近世近代の地誌・案内記に掲載された人物や住所情報のテキスト情報をまとめたファイルを用意すれば、半自動的にこの仕組みに追加できるようにした。現在、「近世京都の交差点ジオコーダー」として試験的に公開し、このシステムを利用して地図を作製することができるようになった。

6. 研究業績

(1) 著書

・なし

(2) 論文

・なし

(3) 研究発表等

- ・塚本章宏「近世近代期京都の地誌・案内記を対象としたデジタルアトラスの構築」、立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」2017年度成果発表会、立命館大学アート・リサーチセンター、京都市、2018年02月24日。
- ・矢野桂司・塚本章宏「日本の古地図のポータルサイト」、2017年度 国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」、2018年03月03日。

(4) 主催したシンポジウム・研究会等

・なし

(5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

・なし

(6) 受賞学術賞

・なし

(7) 科学研究費助成事業

- ・近世近代出版図の構図と系譜に関する歴史GIS研究、若手研究(B)、2017年4月～2020年3月、代表
- ・歴史GISによるデジタル・ヒューマニティーズの展開、基盤A(研究代表:矢野桂司)、2016年4月～2020年3月、分担
- ・日本古地図ポータルサイトによるデジタル・ヒューマニティーズの推進、挑戦的研究(開拓)(研究代表:)、2016年4月～2021年3月、分担

(8) 競争的資金等(科研費を除く)

・なし

(9) その他

近世近代京都の交差点ジオコーダー
<http://www.dh-jac.net/db30/geocoder/>